

あすか製薬の 100年、 そしてその先へ

経営ビジョン

競争力のある
スペシャリティ
ファーマ

2020
創立100周年



さらなる
ステップアップに向けて

創業機能の再構築を中心とした新薬事業を強化するために、川崎研究所を「湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）」へ移転。

2016
次なるステージへの
挑戦

2016年度から2020年度までの5か年の中期経営計画「ASKA PLAN 2020」がスタート。「スペシャリティファーマとしての飛躍」「持続的成長への足固め」を位置づけとし、「存在感のあるスペシャリティファーマ」を目指す。

1993
東京証券取引所
市場第一部に
指定替え



1993



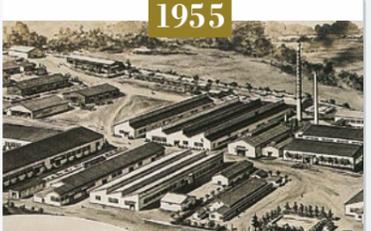
あすか製薬株式会社の
誕生

2001年、本社ビルを竣工。2005年にグレラン製薬株式会社と合併し、「あすか製薬株式会社」が発足。新薬への展開を強化するとともに、ジェネリック医薬品事業にも本格的に参入。



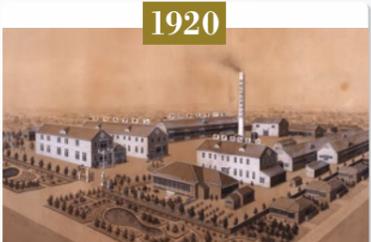
1980
経営の多角化と
大型新製品の上市

「内科」「産婦人科」「泌尿器科」を重点3領域とし、スペシャリティファーマとしてのポジショニングを強化。臨床検査事業、医薬品原料・食品・医療器具などの事業にも取り組む。1980年、いわき工場を開設。1997年、ドイツ・フランクフルトに国際駐在員事務所を開設。



1955
事業基盤を確立して
株式上場

戦争により焼失した本社・工場を戦後、新体制で再建。研究、生産設備の新設、営業体制の拡充により、新製品を相次ぎ開発、上市。動物薬事業にも取り組む。1955年に東京証券取引所に上場。



1920
製薬企業として創立

1920年、横浜市南吉田町に、創業者 山口八十八が帝国社臓器薬研究所を創設。動物の臓器から有用な医薬品を創り出すという独創的な発想により、ホルモン製剤の研究・製造・販売を開始。1936年、高津工場（旧川崎研究所）を開設。



1920
ホルモン製剤の
研究・製造・販売
からのスタート

2019年発売
子宮筋腫治療剤
レルミナ

2018年発売
月経困難症治療剤
フリウェル「あすか」

2016年発売
難吸収性抗菌薬
リフキシマ

2014年発売
子宮内膜症・前立腺癌治療剤
リュプロレリン「あすか」

2014年発売
高血圧治療剤
カンデサルタン「あすか」

2011年発売
高脂血症治療剤
リピディル

2011年発売
緊急避妊剤
ノルレボ

2009年発売
更年期障害治療剤
メノエイド

1999年発売
経口避妊剤
アンジュ

1986年発売
H₂受容体拮抗剤
アルタット

1981年発売
前立腺肥大症・癌治療剤
プロスタール

1922年発売
甲状腺機能低下症治療剤
チラーヂン

女性活躍を推進する社会の動き 1986年 男女雇用機会均等法 1999年 男女共同参画社会基本法 2016年 女性活躍推進法